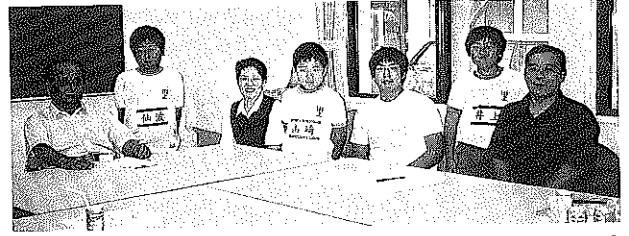


ヤングボランティアスクール

川上小学校三年 仙波 勇祐

三恵ホームの人達は、とても優しい人ばかりでした。だから、僕も優しくしようと思いました。将来は、こんな仕事をしたいです。そして大きくなったら、もっと優しくになりたいです。そして沢山の人を助けたいです。



川上小学校三年 山崎 悠資

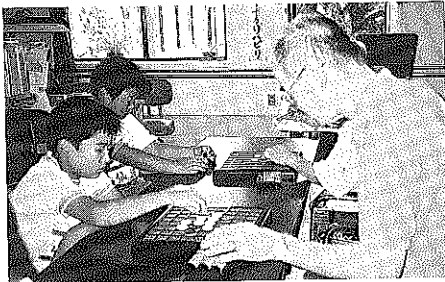
お話を聞いた後、車椅子に乗りました。運転は、簡単でしたが腕の力がとてもいるので、疲れました。

次に、お風呂に入る方法を教わりました。僕は、お風呂に入る役をしました。次は、冬休みにあるそうなので、また行きたいと思います。

川上小学校三年 井上 貞之

僕は、車椅子に乗りました。色々な練習をしました。三恵ホームの中を車椅子で見学したり、エレベーターにも乗りました。その後オセロゲームをしました。

車椅子に乗っている人は、すごく大変だから今日の体験を通して、僕に何か出来ることがあったら進んで行こうと思います。今日、体験をしたことや、障害を持った人に出会って命の大切さを学びました。



さて、ここで問題です

理学療法士 水田 秋敏

表題は、訓練室の一角で、今静かなブームを迎えているフレーズである。

この文句でクイズが始まるのである。どうして会っていきなり、小林完吾ばりの「さて」なのか良くわからないが、これを聞くととにかく可笑しくなってしまう。

クイズの出題は、知っていそうだがすぐには答えられないものが良い。すぐに分かってしまっっては、すぐに終わってしまうからである。また、カルト問題（重箱の隅の問題）も避けられるべきだろう。

利用者のTさん曰く。

「さて、ここで問題です。愛媛で、最も大きな半島はなんでしょう（佐田岬半島ではない）」（答えは最後のページ）別に旅行が趣味ではないが、生まれた三重県から愛媛に来て何十年も経つものだから、知っていそうなもの。

しかし、分からない。いろいろヒントをもらうが、結局どうしても分からない。

「うーん、もう、降参」

「答えは□△半島でした」

なぜこんな話をしたかと言うところだ。利用者の立場はまだまだ弱く、「はやく部屋に戻ってきてー」「ちゃんと食べてー」「ちゃんと部屋を整理して！」「はやく寝てー！」（言い方はもっと柔らかい）という言葉を、無条件で受け入れる事に慣れてしまっている。

だから、「さて、ここで問題です」は、自己主張を違う形で発散する良いリハビリだと思ふ。

